

令和3年度 奈良県防災士会総会

令和3年5月23日(日)に奈良県防災士会令和3年総会が、橿原市すみれホールで開催されました。東京都、大阪府など10都道府県に「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」が発出され、奈良県においても「奈良県緊急対処措置」が発出下にあることから、本総会は「書面議決・電磁的方法による表決・表決委任」を活用した方法で開催され(定款第29条適用)、必要最低限の役員8名によって行われました。

1. 総会出席者

議長：奥田英人(橿原市) 議事録署名人：植村信吉(三宅町)、板谷慶依子(奈良市)

議案提案：末田政一(奈良市)、八幡領光隆(生駒市)、板垣伴之(広陵町)、村山央(広陵町)

司会者：小山英子(奈良市)

正会員146名のうち111名出席(うち表決委任者数103名)

2. 総会報告

(1) 開会

理事長末田政一氏が開会を宣言しました。司会者である小山英子氏から本会が定款第27条に基づき成立している旨を宣言しました。

(2) 来賓メッセージ

司会者である小山英子氏より、以下の来賓の方々からのメッセージが紹介されました。

奈良県知事公室 危機管理監 杉中泰則様

奈良県知事公室 安全・安心まちづくり推進課課長 末武正之様

奈良県文化・教育・くらし創造部 青少年・社会活動推進課課長 山田和宏様

奈良県総合ボランティアセンター所長 浅井智子様

奈良地方気象台台長 平野喜芳様

NHK奈良放送局局長 湯木和則様

(3) 議長選出

副理事長奥田英人氏を選任しました。

(4) 議事録署名人の選任及び書記記録人の指名

議事録署名人は、植村信吉氏及び板谷慶依子氏の両名を選出しました。書記は小山英子氏を選出しました。

(5) 議案審議

第1号議案「事業報告」、第2号議案「収支決算報告」、第3号議案「監査報告」は関連議案であることから、議長から一括提案、一括審議とする旨の提案があり、担当理事監事が提案説明を行い審議したところ、「第3号議案監査報告において、監事1名の署名捺印が抜けていること」についての説明を求める意見があり、理事長より質問に対して、「当該監事は療養中であることから、監査及び総会での監査報告を他の監事に委任する旨の委任状が提出されているため」との説明がなされました。以上、再審議したところ、満場一致で一括承認されました。

第4号議案「事業計画」、第5号議案「会計収支予算」について、議長は一括提案とし説明を求め、担当理事から議案に基づき提案説明し、満場一致をもって承認されました。

以上を持って、本総会の議事を終了したので、議長は閉会を宣しました。〈報告者：小山防災士〉



活動報告

■2020年(令和2年)12月～翌7月末の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
12/5(土)	防災学習会「今の防災」	奈良県	奈良県地域婦人団体 連絡協議会	40人
12/6(日)	ディオ・フェルティ大和高田 (マンション)防災訓練	大和高田市	ディオ・フェルティ大和高田 自主防災会	11人
12/6(日)	防災紙芝居動画視聴イベント	三郷町	三郷町三室自治会	32人
12/14(月)	シェイク・アウト体験及びコロナ禍での 避難所運営(講演)	斑鳩町	斑鳩町、法隆寺	46人
12/15(火)	近畿地域国際化協会連絡協議会 奈良県研修会(ZOOM研修)	近畿	奈良県外国人支援センター	13人
2/19(金)	災害ボランティアセンター運営者研修	奈良県	奈良県防災プラットホーム	35人
2/21(日)	都祁自主避難練習 「Withコロナの分散避難(集まらない避難訓練)」	奈良市	都祁地区自主防災防犯会	—
3/20(土)	北葛城郡内社協「災害VC立上げ訓練」	北葛城郡	北葛城郡内社会福祉協議会	50人
4/4(日)	王寺町防災士ネットワーク総会	王寺町	王寺町防災士ネットワーク	64人
4/14(水)	三宅町自主防災会会長会議	三宅町	三宅町	1人
4/17(土)	関西支部連絡協議会会議	—	日本防災士会関西支部連絡協議会	—
5/17(月)	日本防災士会理事会	—	日本防災士会	—
5/23(日)	奈良県防災士会 令和三年度定期総会	—	奈良県防災士会	書面表決
5/31(月)	葛城市防災士総会	葛城市	葛城市防災士会	72人
6/5(土)	耳成地域子ども教室「じしんと救急」	橿原市	耳成小学校	28人
6/19(土)	耳成地域子ども教室「じしんと救急」	橿原市	耳成南小学校	52人
6/19(土)	日本防災士会 令和三年度通常総会	—	日本防災士会	—
7/6(水)	県安全・安心まちづくり推進課 顔合せ会議	奈良県	県安全・安心まちづくり推進課	11人
7/17(土)	HUG講座研修会	桜井市	纏向地区社会福祉協議会	20人
7/31(土)	災害ボランティアセンター設置・運営訓練	三宅町	三宅町社会福祉協議会	73人

■連続講座 平群町教育委員会主催

月/日(曜)	連続講座内容	場所	参加人数
6/5(土)	くらしに活かす防災講座第一回「災害に備える」	中央公民館	14人
7/3(土)	くらしに活かす防災講座第二回「平群町の災害リスクを知ろう～豪雨災害」	中央公民館	13人

■ラジオ・新聞・テレビ関連

月/日(曜)	番組名、取材テーマ	主催者又は要請団体	出演
12/16(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	末田理事長
12/21(月)	防災士の活動についての取材	共同通信社 奈良支局	末田理事長
2/3(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	末田理事長
2/24(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	植村相談役
3/9(火)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	大北理事
4/14(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	末田理事長
4/16(金)	法隆寺防災訓練と防災士会の関わり	読売新聞大阪科学医療部	植村相談役
4/28(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	植村相談役
5/19(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	大北理事
6/9(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	末田理事長
6/30(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	村山監査役
7/21(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	石川理事

■ マンション防災訓練

2020年12月6日(日) ディオ・フェルティ大和高田にて、「マンションにおける災害対応訓練」が実施されました。本件は奈良県地域防災力向上支援事業の一つです。訓練には奈良県防災士会から防災士6名が参加し、マンション住民11名のみなさんに「大規模災害発生時にマンションで在宅避難するためにはどのように行動すれば良いのか」をプチ体験(模擬体験)していただきました。

訓練終了後の参加者アンケートでは「非常用トイレ体験が印象に残った」や「水運搬の大変さを実感できてよかった」や「自宅で足りない備えがわかったので、徐々にやって行きたい」などの声が寄せられました。本企画が災害への備えを考えるきっかけになったことを期待します。 <報告者：小山防災士>



■ 法隆寺防災訓練

去る2020年12月14日、世界遺産「法隆寺」において防災訓練が行われました。当初、この訓練はコロナ禍における実技体験「避難所開設・体験訓練」として計画していましたが、昨今の新型コロナウイルス感染者急増を受けて急きょ実技体験訓練を中止し、実技はシェイク・アウトのみに変更の上、避難所体験を講演会に切り替えて行われました。奈良県防災士会からは15名の会員が参加すべく準備を進めていましたが、法隆寺及び斑鳩町の規模縮小要請を受けて植村副理事長、板垣理事、小山防災士の3名での参加としました。

訓練対象者も全体80名~100名の予定を40名程度に絞り込んでの開催となりました。訓練は、法隆寺境内でのシェイク・アウト訓練後に聖徳会館にて「コロナ禍での避難所開設・運営」のポイントを植村副理事長が15分で講演するという短時間での研修ではありましたが、参加した皆さんは熱心にメモを取るなどコロナ禍での避難所運営への関心の高さがうかがわれました。最後に、斑鳩町が災害協力協定を結んでいる「グリコ株式会社」から災害備蓄品の紹介が行われて幕を閉じました。 <報告者：植村防災士>



■ 近畿地域国際化協会連絡協議会 Zoom研修

去る2020年12月15日(火)、奈良県外国人支援センターの主催により、近畿地域国際化協会連絡協議会の奈良県研修会が行われました。

コロナ禍のため、奈良県文化会館内サテライトオフィスをメイン会場として、連絡協議会の各オフィス計8カ所をZoomで繋いで実施され、講師として奈良県防災士会の植村信吉副理事長兼相談役が招かれました。

前半は「先手防災、どう動く！外国人支援者の防災行動計画」と題し、南海トラフ大地震を想定したタイムライン実習が行われました。

後半の講演では、外国人が暮らすところへ出掛けて行って災害時に役立つ実技や小技で一緒に身体を動かしてみませんか、人は「地域との結びつきがあれば、正しい行動をする」ものですよとの呼びかけがありました。参加者の皆さんは日頃から地域での外国人支援に取り組んでおられ、災害時の対応にも研鑽を積まれています。植村副理事長からの「支援する側も支援を受ける側も、すべてはケガなく生き残ってから」というお話に、「人を助けるにはまず自分の身を守るという基本に改めて気付かされました」や「今回の研修は大変ためになりました」とのコメントが寄せられました。こうして奈良県防災士会として初めての Zoom 研修は好評のうちに終わることができました。〈報告者：小山防災士〉



■都祁地区自主避難練習（集まらない避難訓練）

令和3年2月21日（日）、奈良市都祁地区において「自主避難練習」が行われました。コロナ禍なので「集まらない避難訓練」として、各自が自宅等の都合の良い場所で自家用車に避難する訓練でした。

訓練のルールは3つ「車のエンジンは始動しない」「何が必要か？何に困ったか？を考えて備える」「無理はしない（途中リタイヤOK）」です。寒い都祁なので防寒対策を考えていましたが、予想外の暖かさでした。そんな中で「災害を想定してパジャマで実施したら寒かった」とか「携帯トイレの準備はしているが、大きい方は困った」とかの意見がありました。コロナ禍で分散避難が推奨される中で、自家用車は「我が家の避難場所」として注目されています。

エンジンを始動すると誤発信や一酸化炭素中毒の危険がありますし、他の避難者にも迷惑をかけるので冷暖房には頼りません。エコノミークラス症候群も心配なので、予め少しでも過ごしやすい環境を日頃から整えておくことが大事だと感じました。是非、皆さんも試してみてください。〈末田政一 防災士〉

自主避難練習

…いつきの避難場所として自宅の車に避難…

日時 **令和3年2月21日（日）**
午前9時～12時00分

場所 自宅、もしくはご都合の良い場所
(各自で自家用車などに避難して下さい)

●避難ルール●

車のエンジンはかけない(エンジン始動禁止)
防寒・飲食・トイレの対策を考える
何が必要か？何に困ったか？を考え備える
無理はしない
(耐えられなければ自宅へ戻る)

詳しくは 裏面を見てね 皆さんご参加お願いします
都祁地区自主防災防犯会

■北葛城郡社会福祉協議会 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

2021年3月20日（土）王寺町文化福祉センター2Fにおいて「北葛城郡社会福祉協議会 災害ボランティアセンター設置・運営訓練」が行われ、関係者総勢46名が参加されました。この訓練は、北葛城郡4町（※）社協が主催してのボランティアセンター立ち上げ訓練であり、今回王寺町が初の開催で、次回は広陵町という様に郡内を回る予定になっています。奈良県防災士会からは、防災士の3名がお手伝いとして参加しました。（※上牧町、王寺町、広陵町、河合町）



王寺町社協 柏本局長の開会あいさつの後、Aグループ（運営側）とBグループ（ボランティア・住民役）に分かれ、Aグループは会場内にある限られた資材を用いてボランティアセンターを開設。Bグループはボランティアにきた側に立って、どう振舞うかの事前レクチャーを受け、第1回目の訓練スタート。コロナ対



策により、事前受付を設営してあり、床のテーピングにより間隔を開けて並び体温測定。その後受付～マッチング～オリエンテーション～資材貸出～送り出しと、一連の流れで訓練を進めました。

次はAグループとBグループの役を交代し、第2回目の訓練がスタート。私はマッチングを担当しましたが、・密を避けて指示を出す・臨機応変に対応する・わからない事は本部に指示を仰ぐ等、運営側の采配の難しさを知る事ができました。

今回災害ボランティアセンター経験者が、各セクションに「ワンポイントアドバイザー」として常駐し、進め方のアドバイスや疑問点などを質問でき、非常にありがたい存在でした。

「振り返りタイム」では、県社協 植村コーディネーター（奈良県防災士会相談役）より、「被災者中心」「災害ボランティアセンターには人が欠かせない」「感染症対策は必須である」等、今後につながる言葉を頂き訓練を終了しました。
<報告者：八木沢 潔 防災士>

■平群町連続講座／くらしに活かす防災講座①

令和3年6月5日（土）、平群町中央公民館において「平群町連続講座/くらしに活かす防災講座 第一回」が行われました。全5回（6月～10月）の連続講座となっています。コロナ禍で開催ですので、当初計画から一部講座の順番を変更し、ハード面とソフト面から感染予防に努め開催しています。講座への関心は高く、14名の受講生が参加されています。

また、平群町防災士ネットワークから4名の方も参加されており、運営のサポートを頂きながら、地域コミュニティにおける連携（顔のみえる関係）がはかられています。奈良県防災士会からは4名参加。第一回目の講座内容は「災害に備える」をテーマとし、「心がまえと防災クイズと非常持ち出し袋」について植村副理事長より講義がありました。災害対策の肝は、「死なない」という事です。そのために、「なにから始めるか?」・危機感を持つ!・我がこと意識をもつ!・他人事ではなく自分の事、・助けあう!・リスクを知る!・訓練（練習）が大事!など、テキストをもとに受講者に問いかけながらの1時間でした。



続いて、シェイク・アウト訓練と休憩をはさみ、非常持ち出し袋について各自持参された物品を広げ、活発な意見交換がありました。受講者の皆さんも色々と考えられ準備されており感心させられます。資料等でみる物品とは異なり、実際に準備されているものが確認でき、また、新たな発見もできました。便利グッズに環境に配慮したものまで。避難も分散化、多様化していますので、避難生活をイメージして必要なものを準備できればと思います。コロナ禍の避難にて、マスク・体温計・消毒液・せっけんなども避難時の準備物として取り上げられていますので、御覧頂いています方も準備の程、ご検討下さい。

～下記の情報サイトを講座にて取り上げましたので参考まで。～

災害用伝言ダイヤル 171（毎月、1日・15日は試験確認が出来ます）

- ・NTT、携帯電話会社

新聞社の公式サイトですが、お住いの地域の状況が確認出来ます。

- ・南海トラフ地震の被害想定
- ・揺れやすい地盤 災害大国 迫る危機

<報告者：大坂間防災士>

■平群町連続講座／くらしに活かす防災講座②

令和3年7月3日(土)、平群町中央公民館において「平群町連続講座/くらしに活かす防災講座 第二回」が行われました。今回は13名の方が受講されました。また、平群町社会福祉協議会西本局長も最後までご視聴頂き無事に終了しました。前回に引き続き、平群町防災士ネットワークからも4名の方に運営のご協力を頂いております。

第二回目の講座内容は、「平群町の災害リスクを知ろう。～豪雨災害について～」です。3部構成で前半2部を小山防災士が担当、最後を大坂間防災士が担当しました。

第1章は、「もしも超大型台風が平群町を直撃するとしたら？」

第2章は、「マイ・タイムライン」を考えよう

第3章は、「過去の災害から学ぼう。：令和2年7月豪雨」

小山防災士の平群町地元での細やかな取材とこれまでの災害に関する報道ならび広報資料をもとに、語り、問いかける形で、平群町ハザードマップを確認しながら、台風接近に伴う行動計画や実際に起こりうる災害について、時系列での講義となりました。また、今回の講義においては、平群町の防災ポータルサイトの案内や奈良県防災ポータル、気象庁、奈良県河川情報システムなど、防災・減災につなげる為の情報の入手先も紹介されましたので、実際に役立つ情報が満載でした。昨今の災害にみられる特徴として集中豪雨による土石流の発生、流木土によるダム化による支川氾濫など甚大化するケースが増えており、近隣のハザードマップだけにとらわれず、周囲のリスクについても考え、備えおくことが求められます。講義に用いた想定箇所はごく一部ですが実際に平群町にて浸水や河川の増水が発生した場合のイメージをもってもらい、それが避難を含めすこしでも冷静な判断を導くものと考えております。この活動報告をご覧になった皆様も一度、マイ・タイムラインについてご一考頂ければと思います。

第3章は、まる一年となりました令和2年7月豪雨について、発災からこの1年について、大坂間防災士より出身地の熊本県球磨村の災害情報をもとに振り返りました。予想だにできなかった降雨、洪水に見舞われ甚大な被害となりました事は、今後の防災計画にきつと役にたつと思います。今あるハザードマップを底辺として、各地で発生している災害を教訓に今を理解してほしいと思います。また避難する事についても、どういった避難をすべきなのか？避難した時の生活と仮に住む家を失う事などもイメージして、避難時の持ち出し品についても考えて頂ければと思います。



最後に、発災以後 熊本県 人吉市・球磨村にてボランティア活動を行っておられるボランティア団体「かわせみ やませみ」様より貴重な資料映像の提供をご承諾頂きました事、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。※奈良県防災士会：植村、堀田、小山、八幡領、大坂間

<報告者：大坂間防災士>

■令和3年度 第1回 理事会ならび事務局会議を開催

令和3年6月20日(日)、奈良県防災士会は本会初となるZOOMを利用した令和3年度 第1回理事会ならびに事務局会議を開催しました。

ZOOM を用いて会議を行った経緯はコロナ禍における活動にて研修など対面での実施が難しい状況にあり、日本防災士会からも同様にWEB研修の推進がなされた事による取り組みです。また、防災士として、このような電子ツ



ールを使用するスキルも必須となる事から実施したものです。本会理事、事務局員においても初めて使う方が多いので、理事会の始まる1時間前よりWi-Fiアクセスポイントへの接続方法からZOOMアプリのダウンロード、ミーティングへの参加方法について事前研修を行い開催するに至りました。ホストの操作、各自の端末のマイクミュートなど使い慣れない時に発生する出来事も沢山ありましたが、自分の端末から自己紹介、挨拶を行うところまで出来、楽しく良い学びの場で有ったと思います。



尚、理事会ならび事務局会議は事前研修の成果も有り滞りなく終了しました。

<報告:大坂間弘明(事務局)>

災害支援活動について

新型コロナウイルス感染の収束が見えない中での被災地への移動は地域住民にも不安感を与えることとなります。現地への訪問は、災害ボランティア活動開始の案内があるまで、控えていただくようお願いいたします。

災害発生時には情報が錯綜するため、正確な情報を伝えることが大切です。

NHKでは、視聴者が撮影した災害や自然現象などの映像をニュース番組等で利用しています。

<https://scoopbox.nhk.or.jp>

防災士会はNHKと協定を結んでいて、防災士からの正確な情報を求めています。

スクープボックスも浸透してきていますが、防災士からの情報と判別できるように、投稿の際はタイトルに「防災士」と「奈良放送局(連携協定を結んだ放送局名)」と記載してください。

NHKからは「せっかくの防災士様からの投稿をいち早く見つけ、放送に生かすためにも、是非お願いできればと思います」と頂いています。

投稿頂く際はくれぐれも内容にご注意頂き、ご協力をよろしく申し上げます。

今後の活動予定

■ 記念研修会

延期になっていた記念研修会が下記日程で開催予定になりました。

日時：令和3年11月20日(土) 14時~16時

場所：奈良公園バスターミナル レクチャーホール

講師：災害NGO 結 代表 前原土武

内容：コロナ禍に配慮した災害V C 設置・運営訓練の必要性(仮題)

詳しくは会員様宛に郵送でご案内します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により中止あるいは延期の可能性が
あります。

中止の際は、奈良県防災士会ホームページとメールマガジンで案内します。

理事長コラム

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一

災害対策基本法の改正により避難勧告と避難指示が一本化されたことはご承知のとおりです。避難指示の発令で危険な場所から全員避難ですが、避難とは字の通り「難を避ける」こと。近隣の安全な場所への退避や屋内安全確保も含めて全員が対象です。防災士の皆さんには率先避難を心がけて頂いていますが、ひとりで避難するのが難しい方もいらっしゃいます。

今回の法改正では、避難するときに支援が必要な方々（避難行動要支援者）に対する「個別避難計画の作成」も市町村に努力義務化されました。要支援者名簿は平成25年に義務化され99%の市町村において作成されていますが、名簿だけでは支援を必要とする方の避難の時に本当に支援が出来るのかという課題が残ります。

福祉関係や自主防災会などで、すでに個別プランの作成に携わっている方もいらっしゃると思います。災害時にどうなるのか不安に感じていても、自分では伝えられない方の声もあります。折角のプランが絵に描いた餅になってしまわないように、お互いが身近な人に声を掛ける「矢切の渡し作戦」を実行して下さい。

「つれて逃げてよ・・・♪」「ついておいでよ・・・♪」

防災士の皆さんにお願いします。大雨や長雨の時は、危なくなる前に「一緒に早めの避難を！」



事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、「**奈良県防災士会**」で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトでは、会員のスキルアップのため、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしていますが、新型コロナウイルスの影響で、現在見学案内は最小限に留めています。

会場定員の都合で予約制となります。見学を希望される方は、事前に事務局までメールで申込をお願いします。

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

- 送り先 **mail@bousainara.com**
- テキストおよび写真（肖像権など差支えないもの）をお送りください。



奈良県防災士会の**Facebook**を公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね！」をよろしくお願いします。
「Facebook **奈良県防災士会**」で検索

■発行日 2021年8月20日
■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
〒632-0221 奈良市都祁白石町1192-190
■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com
■FAX 0745-61-1878
■ウェブサイト <http://bousainara.com>
■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>